



# みつくら



## 《 北米産大豆 》

### 13/14年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省が3月10日発表した、13/14年度の世界大豆生産高予測によれば、生産量はアメリカで収穫面積が減少するものの単収の増加により前年度と比較して増加、ブラジルで収穫面積の増加により史上最高、またアルゼンチンで単収の上昇と、史上最高の作付面積により増加となることなどから、世界全体で前年度を上回り史上最高となる見込み。一方、消費量もアルゼンチン、中国などで増加し史上最高となる見込み。世界全体の生産量は消費量を上回り、期末在庫は前年度より上昇する見込みとなっています。

### 13/14年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	2億8,543万t	(対前年比 6.7%増)
消費量	2億6,970万t	(対前年比 4.2%増)
期末在庫量	7,064万t	(対前年比 22.2%増)
期末在庫率	26.2%	(対前年度差 3.9ポイント増)

### 13/14年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	8,951万t	(対前年比 8.4%増)
消費量	4,869万t	(対前年比 0.6%増)
輸出货量	4,164万t	(対前年比 16.0%増)
期末在庫量	395万t	(対前年比 3.1%増)
期末在庫率	4.4%	(対前年度差 ▲0.2ポイント)



### ○2014年産カナダ大豆情報

カナダ農務・農産食品省がこのほどまとめた、同国の穀物・油糧種子レポートによれば、14年産大豆の作付は183万haと前年に比べわずかに減少します。

生産量と単収は平年並みだが、全体では前年比6%減の490万tになると見ているとのこと。供給量は、高い在庫率が生産量の減少を部分的に相殺することで、前年比5%減に留まると予測、輸出货量は同30万t減の310万t、期末在庫は前年と変わらず20万tと予測しています。

	作付面積 (1,000ha)	単収 (t/ha)	生産量	輸入量	輸出货量	国内使用量	期末在庫
12~13	1,680	3.03	5,086	257	3,346	1,541	173
13~14 予測	1,829	2.86	5,198	250	3,400	1,600	200
14~15 予測	1,825	2.72	4,900	250	3,100	1,600	200

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



# みつくら



## 《 国産大豆 》

### ○平成25年産国産大豆入札情報

2月に行われた国産大豆入札取引結果によれば、平均落札価格が**1,600円上昇**、落札率に至っては2月単月で**92.2%**、累計で見ても**89.2%**と非常に高い落札率をつけることとなりました。

暴騰ともいえる価格上昇の要因は、先月号にてお伝えした、輸入大豆高騰による国産人気上昇、24年産大豆の在庫の減少に加え、25年産大豆の不作による供給不安が浮上してきたことによります。全国的に収穫量が減少し、さらに小粒化していることから、主に西日本の銘柄が高騰し、その流れで東北、北海道産の大豆も軒並み高騰する結果となっています。

そういった状況の中、全農では当初予測していた25年産大豆の集荷予定数量を、171,800tから、**約2万t減**の151,829tへと修正しており、国産大豆の価格上昇にさらに拍車がかかることが予測されます。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
11月	1,168t	940t	80.5%
12月	2,969t	2,523t	84.9%
1月	4,351t	3,886t	89.3%
2月	7,512t	6,928t	92.2%
合計	16,000t	14,277t	89.2%



## 《 トピックス 》

### ○14/15年米国大豆作付予測

米国農務省がこのほど開いた、今年の農業展望会議では、14/15年産の米国産大豆作付面積は、前年比**300万A増**の7,950万Aとの予測が示されました。シカゴ大豆の新穀限月価格や現物価格は、前年同期と比べると低下していますが、トウモロコシより収益性が高いとの判断に加え、輪作の観点からも作付は拡大するとの見方を示しています。さらに、米国北部と中西部の多くの地域では厳冬・大雪の影響により、作付が遅れると見られ、これが相場上昇につながり、さらに大豆作付を促す可能性のほか、6月には理想的な天候で推移するとの予報から、昨年は低温・多雨の為大豆を作付出来なかった地域を含めて、大豆作付が拡大するとの見方を示しています。

同年の総供給量は**7%増**の37億1500万Buと堅調な増加を見込んでいます。生産量は作付増加と単収増加を背景に、**8%増**の35億5,000万Buを予想、単収は昨夏は乾燥天候の影響を受けたことを考慮し、さらに平年並みの天候に恵まれた場合、**45.2Bu/A**と、**1.9Bu/A**増加を予想しています。

## 三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: [mitk@mitk.co.jp](mailto:mitk@mitk.co.jp)

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>